



大町市青少年センターだより

わかくさ

73号

大町市青少年センター

大町市教育委員会生涯学習課内

連絡先 22-0420 内線625



補導委員の皆さまありがとうございました

大町市青少年補導委員協議会 会長 遠藤 祥江 さん

私は北村喜男会長の後を引き継ぎ会長に就任しました。歩くことには自信があり、街頭補導、PTA との合同補導、店舗確認・聞き取りにと各班のみなさんと一緒に廻らせてもらいました。

活動中、環境浄化活動としてゴミの片付けをしていただき、タバコの吸い殻・マスク・お菓子の空き袋・ペットボトル・空き缶等、大袋がいっぱいになる程のゴミに補導委員・PTA の皆さんからは「こんなにゴミが落ちているんですね」「タバコは大人ですよ」「タバコは中学生ではないですよ」……。大人のマナーの悪さを知っていただくことができました。

通学路の巡視では、普段車で通るけれど、歩いて通ることのない子ども達の通学路にこんなに危険箇所があるのかと目につき、「休みの日に子どもと一緒に歩いてみようと思いました」というお父さんお母さんがいてとても嬉しかったことを覚えています。

あいさつ運動では、笑顔で元気な声であいさつをしてくれ、私の心の中まで伝わってきて、とても心がほっこりしました。

店舗確認では、一軒一軒お店をまわり、ひまわりっ子運動に参加していただけるようお願いし、協力してくださるお店にはステッカーの貼付（ひまわりっ子育成県民運動）をお願いしました。以前から協力いただいているお店の古くなったステッカーの交換も行いました。店主の皆さまからは、「ご苦労さま」「大変ですね」と声かけをしていただきありがたかったです。

私は2000年に初めて補導委員として活動を始めました。その頃はあちこちに子ども達が集まっていて「こんばんは」「早く帰ろうね」などと声をかけて見回りを行ないました。その頃の子ども達が大人になり「おばさん」と声をかけてくれることがあります。そんな時「補導委員」やっていて良かったなとつくづく思います。

コロナの流行により県開催の会議がリモートになってしまい、様子も見ることもできず、ことばも交わせなくなってしまいました。これもさみしい思いをしました。早く、皆さんと対面で話ができるように、戻ってくれば良いなと思っています。

いろいろな講演会にも参加してたくさん学習させていただきました。

本当にありがとうございました。青少年補導委員の皆さん、地域の皆さん、PTA の皆さん、先生方、店主さん本当にお世話になりました。ありがとうございました。



街頭補導活動の感想

南部 6班 降籟 千明さん

この度青少年補導委員の一人に加えていただき、補導活動に参加させていただきました。

現状は核家族化が進み、子どもは、社会全体で育てるのか、家族で育てるのか議論されている昨今、一昔前は地域で自分の子どもと分け隔てなく、温かく見守り地域全体で育てていたように思います。

数年青少年補導活動を行い、感じたことは、インターネットが当たり前の世の中になり、子ども達の生活スタイルがコロナ禍以降、インドアスタイルになってしまったことです。子ども達の姿を見かけることは少なくなり、また SNS などのネット犯罪が身近になってきているのではないかと思います。軽い気持ちで行ったことが被害者にも加害者にもなりうることを自覚して使用して欲しいと願うばかりです。

お店の方も地域の安全環境に対して積極的に参加していただき、お店にステッカーも快くお店に貼って協力してくださり、ありがたく思っています。



青少年補導委員活動に参加して

5班 黒川 恵理子さん

本年度、青少年補導委員活動に参加させていただきました。印象に残ったのは、まず、インターネット・SNS についての講演会です。インターネットを活用する中で起きた問題を講師の方からお聞きしましたが、正直、小

中学生の子どもは、スマホ等は持たない方が良いと改めて思いました。昨今、学校でも指導しているようですが、今の子ども達は大人が考えつかないような使い方を知り過ぎていて、それが犯罪に巻き込まれるきっかけになったり、いじめに繋がっていくこともあるのだと改めて感じました。大人がしっかりと子どもの様子を見守ることが必要かと思えます。



またもう一つ印象に残った活動は、松本少年刑務所の視察研修です。普段なかなか入れない刑務所内を見せていただきましたが、受刑者が黙々と作業に取り組む姿や、普段生活している部屋等も見学出来ました。補導委員にならなければ出来なかった貴重な経験だと思います。1年間ありがとうございました。

青少年補導委員を経験して

3班 桑原 康秀さん

令和4年度、5年度の2年間、初めての青少年補導委員を経験させていただきました。年に数回ある街頭補導では主に大町第一中学校、大町西小学校周辺で行いましたが、下校時の児童、生徒数の少なさには驚きました。

令和4年度には大町第一中学校はありましたが、翌年は再編により使用されなくなった校舎に寂しさを感じました。しかしながら、子ども達はみんな恥ずかしがらず大きな声であいさつができ、我々大人も見習わなくてはと思いました。昨年のPTAとの合同補導打ち合わせの際に「子どものスマホ、ネット時代」の大人の役割という演題で講演をお聞きしましたが、まさに今の時代子どもとどう接するか考えさせられるお話で、お子さんを持つ親の方にぜひ聞いていただきたいと思いました。補導委員の任務は終了しますが、この経験を活かしこれからも地域の子どもたちを見守っていきたいと思います。



街頭補導に参加して

東部 2班 曾根原 功伯さん



私は、岡秀子さんを班長として3年間青少年の健全育成や非行防止に取り組んでまいりました。具体的な活動として、大町駅に集合し、班員が問題意識を持って駅周辺・地下道・カラオケ店・フレスポ広場の各店舗での見回り、さらには、PTAと連携し東小学校で下校時の声かけや通学路の点検等を行いました。その結果、特に問題になるような事案はありませんでしたが、タバコの吸い殻・ゴミ等が散見されたのは残念でありました。



話は変わりますが、よくあの時「あーすればよかった。こうすればよかった」など後悔する言動を耳にします。子どもの非行についても、成長の過程において、周りのみんながあまり関わりを持ちたくないのか、他人事として見て見ぬふりをし、結果的に非行にはしるチャンスを与えてしまっているのではないのでしょうか。こういうチャンスを与えないためには、平素から躰教育は勿論のこと、家庭・教育現場・地域の人達みんなで気が付いたときには、真正面から逃げることなく向き合いフォローする。そして子どもの心を満たしていくことが大切だと思います。

皆さんの協力で補導活動が・・・

全域委員 竹村 光吉さん



先生・PTAの方と学校でのあいさつ運動、PTAの方と通学路合同巡視活動を行ってきました。



あいさつ運動でこちらから声をかけると子ども達からもあいさつが返ってきて、気持ちが良かったです。巡視活動中には子ども達をほとんど見かけませんでした。その為か、視線が下の環境美化に、危険箇所の点検にと目が向いてしまいました。

子ども達については、先生方との連絡会、PTAとの合同あいさつ運動・巡視活動の中から、今の子ども達の様子を聞いたのは良かったです。

店舗確認時も、店の方にチラシを渡しながら、子ども達を見かけたら声をかけ、見守りをお願いして回りました。これからも皆さんにご協力をお願いしつつ、子ども達の為に活動を続けて行けたらと思います。

街頭補導に参加して

北部 12班班長 松田 牧男さん



本年最後の活動報告を少し書いてみます。私たちは北部担当の12班です。他町とは違い、全員が俵町の住民のみの5人で編成されています。普段より気心が知れている仲間なので活動がしやすいです。活動は市内でも一番子どもが多く集まる場所、西公園グラウンド、かまど神社境内、地下道等のごみ拾い。移動して文化会館周辺、北大町駅の放置自転車の見廻り、これに関しては、一中・北高の閉鎖によりなくなりました。スケボーパーク、ここでは若者が大勢いてあいさつをよくしてくれました。ごみの方はどの場所でも、使用済みのマスクが多く捨ててありました。

店舗聞き取りでは、調査プリントの質問内容がよくわからないと言った意見が多くありました。

町内では、PTA・公民館活動に協力して魚つかみ大会、正月のどんど焼き、秋の町内運動会、防災訓練等に、子ども主体で協力して来ました。今では少数となった町内小中学生ですが、今後も毎日朝夕気持ちいいあいさつ運動ができる俵町の子どもを末永く見守っていきたくい、今後がんばっていきたくいと思



青少年補導委員を経験して

美麻地区 14班班長 吉本 臣子さん



① 良かったこと

- 普段見ることができない子ども達の下校時の様子を見ることができました。
- 長年にわたり活動されてきた先輩のお話を伺え、この方々のおかげで健全な地域が保たれていると感じました。

② 改善すべきと思われたこと

- 「補導」という名前が仰々しく受ける側としては重い。「見まもり隊」とか「サポーター」というのはいかがでしょうか。
- 先生方の話では現状は非行よりも不登校の問題が多くなっているとのこと、そちらにも注力していく必要があると思います。
- 同じタイミングで交通安全協会の委員も引き受けており、朝の交通安全運動とあいさつ運動や見守りを一緒にできると感じました。
同じような活動をしているのであれば、一元化していただくと助かります。
- たくさんの資料を伴わない通知や報告書のやりとりは、事務作業の軽減のためにもメールで行えば良いのではないのでしょうか。

青少年補導委員をやってみて

西部 5班 太田 幸代さん



初めは、「順番が回ってきたからやらなきゃ」と、気が進まなく受けた補導委員でした。一年間に合同補導が数回あり、あいさつ運動や、ゴミ拾い、少し大変な活動でした。

しかし、昨年11月にとても貴重な経験をさせていただきました。松本少年刑務所への視察研修です。高い壁に、何重にもしっかりロックされている扉。とても重々しい雰囲気の中、受刑者が庭でランニングしながら、体を動かしていました。丸坊主に半袖から覗く入れ墨・・・。無言で、木作業や車の整備に黙々と作業を行っていました。部屋はとても狭く、土・日はその部屋だけの生活。その反面、休憩中は楽しそうに会話をしていました。テレビも就寝までは観ていいそうです。少しホッとしました。私自身、中学生の子どもがいるのでとても複雑な気持ちになりましたが、猛省して欲しいです。

今では、補導委員を受けて良かったと思っています。

青少年補導委員に参加して

北部 10班班長 中村 茂穂さん

補導委員の活動を2年間行う事になり、参加させていただきました。地域のこのような活動になかなか参加できないので、いい経験になったと思います。

だが、世の中が変わったのか、コロナ禍のせいなのか子ども達の姿をあまり見る事がなくなった様な気がします。今後、どの様な活動にしていかななくてはならないのか、考える時期になった様な気がします。今まで通りに、見廻りや声かけをするにも場所や時間などの選定、見直しが必要ではないのかなーと思います。

2年間、活動に参加させていただきありがとうございました。



街頭補導活動の感想

北部 9班 生出 隆雄さん

過日、子ども達の街頭補導に参加し、一市民として地域に微少なながらも寄与できたという満足感がありました。同時に子ども達も地域に支えられ無事に勉学に専念できることを認識できていればさらに励みとなります。健全に育ち世に出て明るい日本の将来に貢献できる活躍を期待したいものです。地域の人達は子ども達のために多様な活動をしていると思われませんが、それらの周知度をさらに高め子ども達が、地域の人達との多様な関わりを通して社会性を学び、社会を怖れての引きこもりを回避し実社会で活かせれば幸いです。それらの活動状況を詳しく広報して更に活動を活発化させることが必要で紙面掲示も効果あります。市民一体で少子化の折、子ども達の育成に関与する仕組みができれば全国に発信できるものと思われま。教育は主に学校、育成は地域からが通念ですが両輪は軸で繋がり車として機能すると同様に地域と学校が更に連携して子どもの立派な成長に繋がればと考えます。



青少年補導委員を経験して

東部 2班 百瀬 崇さん

今回、青少年補導委員の活動で普段できない経験、体験をさせていただきました。何も分からない状態から同班の方々にご指導いただきながら活動することができました事、感謝いたします。

街頭補導では、コロナ禍の影響も有ったのか店舗、路上共に子どもはほとんど見かけなかったのですが、大町駅周辺のごみ、吸殻の多さにビックリしました。大人のマナーを考えさせられました。ですが毎回拾うごとに量が少なくなっていた事を実感できました。キレイならポイ捨ても減るのかなと思いました。

講演会では、わかっているつもりで居たが、知らない事だらけで勉強になりました。

松本少年刑務所視察研修では、色々な現状を知る機会になりました。

最後に子どもがあまり出歩いて居ないのは少し寂しさもあります。少子化もありますし、スマホゲームや塾など外に出なくても色々あるのかもしれませんがね。今回少しは大町市の現状を知るキッカケにもなりました。

貴重な経験をありがとうございました。この活動にご尽力されている皆様方には感謝いたします。



青少年補導委員を経験して

西部 3班 小日向 和泉さん

2年間、補導委員の活動に参加させていただきありがとうございました。

合同補導では、子どもたちに「お帰りー！」「お疲れさまー！」と声をかけると「ただいまー！」「さようならー！」と元気に気持ちよく挨拶をしてくれたことがとても心に残っています。子ども達の笑顔は本当に素敵ですね！ その笑顔で私も元気をもらいました。

4年振りに行われた研修では松本少年刑務所の視察に参加させていただき、実際に刑務所内を歩いて回りながら見学をし、とても貴重な経験をさせていただきました。また、刑務所が住宅地に立地出来ているのは地域の協力あってこそとお聞きし、改めて地域連携の大切さを感じました。

これで2年の任期は終了となりますが、今後も子どもたちのために何かお手伝いが出来たらと思っています。



店主の皆さん

『青少年健全育成協力店』として

ひまわりっ子育成県民運動にご協力、ありがとうございます

青少年育成協力店とは、

地域ぐるみで青少年を見守り育て非行を防止する環境づくりを推進いただく店舗の皆さんです。（協力店にはステッカーを配布し、入口に貼付していただいています）

店舗確認の際、寒い中、今年も補導委員の皆さまが一軒一軒まわって、協力店になってくださっている店舗の古くなったステッカーの交換と今後もよろしくお願ひしますと協力をお願ひしたり、貼付されていない店舗への貼付のお願ひ、新たに協力してくださるようお願ひしていただき、おかげで新規協力店が生まれました。寒い中ありがとうございました。店主の皆さま温かく迎えていただき、ありがとうございました。これからもよろしくお願ひいたします。

令和5年度新規協力店になってくださった店舗です（敬称略）

Fine style（エステ）、どらやき Cona、Café & Bar Gina、珈琲豆工房彩乃季クレット、Café ふわふわ、野菜畑のトントン 以上7軒です。



現在の確認店舗数は367軒

そのうち協力店舗数は301軒です

今後とも青少年の見守りを
よろしくお願ひいたします。

2月～3月 青少年有害環境浄化活動強化月間 です

これからも

地域のみなさんで青少年をはぐくみ、みまもりましょう。

ご協力をお願ひします。



性被害から自分の大切な体と心を守るために

NO! 有害サイト



NO! 万引き

SNS で知り合った見ず知らずの相手に直接会う事は危険です。相手から頼まれても絶対に自分で下着や裸の画像を撮影し、SNS 等で送ってはいけません。

令和6年2月～令和6年5月

「春のあんしんネット 新学期一斉行動」です

青少年が安心・安全にインターネット等を活用できる環境の整備をこころがけていきましょう。

こども家庭庁が「春のあんしんネット 新学期一斉行動」に重点としている項目

- 1 ペアレンタルコントロール（保護者による管理）による対応の推進
- 2 効果的なフィルタリングの利用
- 3 話し合いによる家庭内ルール作りの促進
- 4 インターネットを適切に活用する能力の向上促進

